

**令和2年度（2020年度）第1回（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会
意見交換概要**

開催日時	令和2年（2020年）10月29日（木）19：00～20：30		
開催場所	庄内さくら学園中学校 1階多目的室	傍聴者数	2人
出席者	委員	【庄内小学校】 中北委員、北島委員 【野田小学校】 溪口委員、谷口委員、児島委員、藤野委員 【島田小学校】 竹本委員、須賀委員、米田委員 【庄内さくら学園中学校】 亀谷委員、増森委員、吉川委員、吉田委員	
	事務局 その他	【教育委員会事務局】 岩元教育長、小野事務局長、道上教育監、中尾理事、寺田次長、井角参事 湯浅主幹（計画担当）、濱副主幹、上松主査 【都市経営部】 橋本主幹（南部地域活性化担当）	
次第	1. 教育長挨拶 2. 出席委員紹介 3. 「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」と開校準備委員会について 4. 委員長、副委員長の選出 5. 意見交換 ・（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた検討状況について ・跡地活用について 6. その他		
配布資料	【資料1】 （仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会設置要綱 【資料2】 （仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会 委員名簿 【資料3】 （仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会会議の傍聴要領 【資料4】 （仮称）庄内さくら学園の開校に向けた検討の進捗状況について 【資料5】 （仮称）庄内さくら学園 校歌 【資料6】 （仮称）庄内さくら学園 教育内容の検討事項 【資料7】 南部地域活性化基本計画 【参考】 庄内さくら学園 PTA 新聞 庄内さくら学園中学校 さくら学園だより 街の広場アプリ「ピアッザ」リーフレット		

1. 教育長挨拶

2. 出席委員紹介

3. 「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」と開校準備委員会について

事務局（資料1・3についての説明）

4. 委員長、副委員長の選出

委員長の選出について、設置要綱に基づき、委員の互選により、北島委員が選任された。続いて、副委員長の選出について、同要綱に基づき、北島委員長の指名により、中北委員が選任された。

5. 意見交換

○（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた検討状況について

事務局（資料4・6についての説明）

庄内さくら学園中学校校長

- ・（第六中学校と第十中学校の閉校から庄内さくら学園中学校の開校にかけての状況説明及び庄内さくら学園校歌の受領式と庄内さくら学園中学校生徒へのお披露目についての説明）

事務局（校歌について高木先生のメッセージ動画及び校歌音源披露）

委員長

- ・ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等があればいただきたい。

委員

- ・庄内さくら学園校歌を聞いて、とても感動した。「それぞれ違うから 美しい」や「急がなくていい 少しずつ」という歌詞が心にしみた。子どもたちに長く歌い続けてもらいたい。校歌は学校に愛着をもてるものの1つになるのではないか。そのために、イベントの時だけでなく、日頃から校歌を流してもらえればよい。

庄内さくら学園中学校長

- ・現在、昼食の時間に毎日流している。

委員

- ・変化に富んだ曲調なので、低学年には難しいかもしれないが、上級生たちの美しいハーモニーを聴いてしっかりと歌えるようになればよいと思う。

この校歌を聴いて「感動した」「NHKの朝ドラのテーマ曲のようだ」との感想をもったとの話を聞いた。学園の子どもたちだけでなく、地域の人たちにも歌ってもらえるよい校歌ができたと感じた。作詞作曲をしていただいた高木先生に感謝の気持ちでいっぱいである。

委員

- ・庄内小学校・野田小学校の通学路について、今年度の初日の登校時に穂積菰江線を北上する児童は全て道路の西側を通っていたため、とても混雑した。そこで、翌日から道路の東側の人は東側

の歩道を北上し、西側の人は西側の歩道を北上することにしたことでかなり混在は緩和した。しかし、西側歩道を通る人が最後の交差点でまず東側へ渡ると、東側歩道を北上してきた人と合わせ、人数が増える。そのため、現在市において当該箇所の拡幅工事をしてもらうようお願いし、すぐに対応してもらっている。

現在の通学路を通るのは残り 2 年半しかないため、できるなら早くに作業が完成してもらえるとありがたい。

委員長

- ・他にご意見・ご質問等があればいただきたい。
- (意見なし)

○学校跡地活用について

事務局 (資料 7 について説明)

委員長

- ・ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等があればいただきたい。

委員

- ・令和 5 年度 (2023 年度) から「第十中学校・野田小学校・島田小学校を跡地として利活用する」とあるが、詳しく説明してほしい。

事務局

- ・開校年度である令和 5 年度 (2023 年度) から跡地活用できるようなスケジュールを考えている。公共施設として何を残すのかすでに提示しているが、すべて公共施設として残すのではなく、民間活力の活用も検討している。そのためのコンセプトを今年度に設定する予定である。来年度は、そのコンセプトに沿って事業化できるか事業者とサウンディング調査を行う。それを基に令和 5 年度 (2023 年度) から跡地活用ができるようにするというスケジュールを市として考えている。今年度は地域の方々などの意見を聞きながら進めていきたい。

委員長

- ・他にご意見・ご質問等があればいただきたい。
- (意見なし)

6. その他

委員長

- ・次回以降の予定や連絡など事務局から説明いただきたい。

事務局

- ・次回の開校準備委員会は 2 月ごろを予定している。コロナ感染拡大の状況により延期する場合もあるが、日程が決まり次第、ご連絡させていただく。

(以上)